

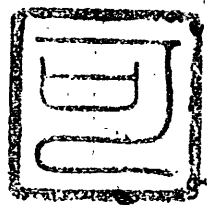
免被仰付度國事の多端に折屈
悚しむ、之を慮り、其の辭情に諒察を賜
願意に採納し、程を悉く諒言

明治三十一年六月廿九日

樞密院議長伯爵黒田清隆



内閣
閣第九三番



正二位勲一等伯爵大隈重信
任内閣總理大臣兼外務大臣

正三位勲一等伯爵板垣退助
任内務大臣

正五位大石正己
任農商務大臣

任文部大臣

正五位尾崎行雄

任大藏大臣

松田正久

任司法大臣

大東義徹

任遞信大臣

林有造

右勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

明治三十一年六月二十九日

海軍大臣侯爵西郷従道

閣九二



正五位尾崎行雄懲戒處分ヲ免
スルノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治三十一年六月二十九日

海軍大臣侯爵西郷從道